

## 第6回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和6年8月1日（木曜）		午後2時15分 開会	
	休 憩 14:51-52 15:20-21			
	午後3時26分 閉会			
	休憩時間：0時間2分		会議時間：1時間09分	
会議場所	3階委員会室			
出席委員 氏 名	委員長	中村 和宏	委 員	堀切 忠
	副委員長	中田智恵子	委 員	小笠原 等
	委 員	鈴木 健充	委 員	伊藤 稔
	委 員	早苗 豊		
	委 員	立川 美穂		議 長 梶澤 幸治
説 明 員	公立芽室病院事務長	石田 哲	高齢者支援課長	久保 禎巳
	事務長補佐	篠田 潤一	介護保険係主査	柳澤 倫世
	総務係長	佐藤 文彦		
	経営企画係長	杉本 康次		
	医事係主査	多田 敬介		
参 考 人				
欠 席 委 員 氏 名				
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係主査 上田瑞紀		
<p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。</p> <p>2 議 件 (1) 調査事項</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 公立芽室病院の経営状況（令和6年度第1四半期）について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務長：資料を総務係長及び事務長補佐から説明する旨を告げる。</li> <li>・総務係長：資料説明（第一四半期決算状況）</li> <li>・事務長補佐：資料説明（診療科別前年対比、月別入院状況、月別外来状況）</li> <li>・委員長：質疑はないか？</li> <li>・（意見・質疑なし）</li> <li>・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">イ ポータブルエコーの導入について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務長：資料を経営企画係長から説明する旨を告げる。</li> <li>・経営企画係長：資料説明（「現状」・「検討」・「想定資金」）。</li> </ul>				

- ・立川委員：院内設置機器（エコー）とポータブルとの精度の差異はあるのか？
- ・経営企画係長：今回導入予定の機器については、院内機器との差異はほとんどない。
- ・立川委員：検査技師にとっては、ポータブル操作に際して、新たな研修等は必要となるのか？
- ・経営企画係長：新たな研修は不要であり、現在の検査技師がすぐに操作可能な機器である。
- ・鈴木委員：農村地域において、遠隔操作が不可能な地域もあるのか？
- ・経営企画係長：Wi-Fi が機能しない場所について、操作ができない地域も想定されるが、ポケット Wi-Fi など当院が保持することなどにより解消に努めたい。
- ・早苗委員：年度途中で当該機器を導入しようとする理由は、以前から急務としていたハード整備としての必要性か？もしくは、有利な補助制度が今年度限りであるという資金面の優遇性を優先しようとするのか？
- ・経営企画係長：第一に、かねてより設置を希望していた機器であることの必要性。第二に有利な補助制度という整理である。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

#### ウ 診療報酬改定に伴うシステム変更について 資料 3

- ・事務長：資料を経営企画係長から説明する旨を告げる。
- ・経営企画係長：資料説明（「電子処方箋システム導入」「自動精算機発行の領収証レイアウト改修」）。
- ・立川委員：「電子処方箋システムの導入」について、データを受理する側の町内調剤薬局にもシステム導入は理解を得られているのか？
- ・経営企画係長：厚生労働省公開のホームページを拝見すると、現時点では町内で1か所がシステム導入済である。システム導入には経費もかかることから強制はできないが、情報提供をしながら取り組んでいきたい。
- ・立川委員：公立芽室病院として、積極的に町内調剤薬局にシステムを導入しようとする考えはあるのか？
- ・経営企画係長：システム導入に係る町からの財政支援等は現時点で想定していないが、情報提供と共有に努めていきたい。
- ・伊藤委員：現行の FAX による町内薬局に対しての処方箋のしくみが変わるということか？
- ・経営企画係長：FAX のしくみは現行のまま継続するものである。
- ・伊藤委員：患者の立場では特に変化はなく、病院として加算等のメリットがあると解して良いか？
- ・経営企画係長：選択肢が増えるということである。
- ・早苗委員：「自動精算機発行の領収証レイアウト改修」について、そもそも論になるが、キャッシュレスにするという考え方はないのか？
- ・経営企画係長：現行機器の入れ替えについては、現時点で検討していないが、今後

向けては検討していきたい。

- ・立川委員：「電子処方箋システムの導入」について、公立病院がいくら整備しても、情報を受理する側の受け手の調剤薬局の対応がなければ、利便性も半減するものと考えられる。ついては、その目標値設定などを公立病院として設定すべきか否かを確認したいが、いかがか？
- ・事務長：先ほど説明したとおり、公立病院がシステム導入に際する補助金を出すまでの積極姿勢とは言えないが、システム導入については、その機運は時間と共に推進されるものと考えるので、情報共有と共通認識を図ることは取り組んでいきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「ウ」を終了する。

#### エ 介護職員奨学金返還支援事業について 資料4

- ・高齢者支援課長：事業の趣旨説明。介護保険係主査が資料を説明する旨告げる。
- ・介護保険係主査：資料説明（「対象者」「助成申請・期間のイメージ」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：当該事業について、他自治体の参考例はあるのか？
- ・課長：十勝管内では、士幌町の事例を参考にした制度設計である。
- ・立川委員：「町内在住」と「町内勤務」の二つの要素を満たすことが条件ということについて、ハードルは高くないのか？
- ・課長：定住促進の視点もあることから、当該設計とした。
- ・早苗委員：町内事業所との意見交換の実績は？
- ・主査：聞き取りにおいては、介護人材の不足の実状と職員が奨学金を返済している状況の確認をし、今後に向けて、有効な制度となるように共通認識を図ったところである。
- ・早苗委員：大規模な事業所については、本人の意思とは別に他の自治体への転勤も想定されるが、このような状況も加味した制度設計としたのか？
- ・主査：事業所とは、該当となった職員については、転勤についても一定の配慮も念頭に置きたい旨、意見交換をしている。
- ・立川委員：当該支援策について、伴走策の検討はあるのか？
- ・課長：事業者に対する国の方策はあるが、町独自として、伴走策までは踏み込んでいない。
- ・堀切委員：支援額額の返還はあるのか？
- ・課長：支援額額の返還を求めない制度設計である。
- ・早苗委員：単独事業ではなく、例えば「親子近居政策」等を庁内連携で協議した経過を踏まえた制度か？
- ・課長：単独事業として、財源確保も含めて設計した制度である。
- ・中田委員：今後の事業実施に向けてのスケジュールは？
- ・課長：当初は、令和8年度からの事業実施（予算執行）を予定していたが、庁内協議により優先度を上げて2年前倒しの今年度から実施しようとするものである。つ

いては、速やかに関係要綱を制定し、その後、補正予算を提案するなど取り進めていこうと考えている。

- ・中田委員：当該事業は、言語聴覚士等にも支援の対象が拡大されるようなことも視野に入れているのか？
- ・主 査：現時点では、あくまでも介護福祉士に限定した制度である。
- ・堀切委員：居住・勤務いずれかの条件のみを対象にしたような制度を検討した経過はあるのか？
- ・課 長：それらを踏まえて、本日説明の事業計画となった。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「エ」を終了する。

- ・委員長：自由討議を行う。調査事項「ア」について意見はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「ア」の自由討議を終了する。

- ・委員長：自由討議を行う。調査事項「イ」について意見はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「イ」の自由討議を終了する。

- ・委員長：自由討議を行う。調査事項「ウ」について意見はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「ウ」の自由討議を終了する。

- ・委員長：自由討議を行う。調査事項「エ」について意見はないか？
- ・立川委員：今後、予算決算審査等の場面を通じて、追跡調査をすべき事項と考える。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「エ」の自由討議を終了する。

### 3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程について  
正副一任

- (2) その他

- ・委員長：「その他」で各委員からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：議長からないか？

- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	4名	合計	5名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和6年8月1日

厚生文教常任委員会委員長 中村和宏